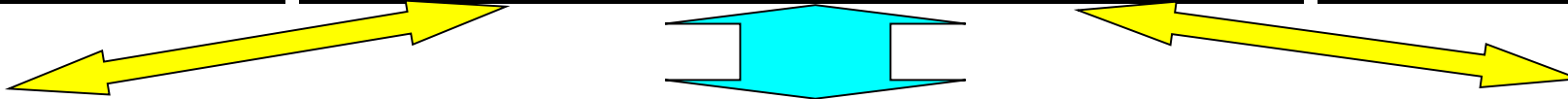


# 平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立潮小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国学力調査の結果から見られる課題 (1)各教科の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の問題で、自分の考えと相手の考えの共通点や相違点をとらえる力が低い。</li> <li>・算数の活用力・応用力に課題が見られる。昨年同様図形問題に弱い傾向がある。</li> </ul> <p>(2)質問調査の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自尊感情の向上が見られたが、全国的にみるとまだまだ低い。</li> <li>・計画的に勉強していると答えた児童は少ないが、読書や家庭での予習・復習がよくてきている。</li> </ul>	<p>○校内研究会を年4回、ブロック研究会を年3回、その他すべての教員による一人一授業を行い、国語科の研究を深める。</p> <p>○全体研究会、ブロック研究会とともに講師を招聘し、指導助言を仰ぐ。</p> <p>○授業力アップのための校内研修会を行う。</p> <p>○アクティブラーニング推進や課題解決学習を取り入れた先進校への視察を行う。</p>	<p>○自主学習のてびきを活用し、自主学習を含む、家庭学習の推進をはかる。</p> <p>○放課後学習を実施し、低学力の児童の学力底上げを図る。</p> <p>○生活リズムのチェックを実施し、基本的な生活習慣の確立を図る。</p> <p>○6月と1月に生活リズムチェックの集計をし、宿題・自主学習の定着率を上げる。</p>	<p>○朝学習の読書を徹底させる。</p> <p>○読書力向上員の活用により、図書室の利用をさらに活性化させる。</p> <p>○スタディープランの作成により、学習習慣の定着を図る。</p> <p>○学校だより等で、学力調査の結果の公表を行う。</p>	<p>○学習に自主的に取り組める子どもを育成する。 (自主学習・宿題の提出率90%以上)</p> <p>○課題解決学習(課題を立て、情報を集め、整理し、課題解決を図る)に取り組ませる。</p> <p>○基礎基本をしっかりと定着させる。</p> <p>○保護者アンケートを実施する。</p>



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○中学校区による合同研修会を夏季休業中に実施する。</p> <p>○入学前に体験学習をし、中学校の取り組みを知る。</p>	(1)アクティブ・ラーニング推進支援	潮スタイル授業を取り入れた授業実践を推進する。	<p>○学校だより等で、学力調査の結果の公表を行う。</p> <p>○自主学習のてびきを、家庭での掲示用に配布し、自主学習の周知を図る。</p> <p>○生活リズム運動を児童と共にに行ってもらい、生活リズムの改善を図る。</p> <p>○学力テストの結果を配布する。</p>
	(2)先進校視察支援	課題解決学習を行っている先進校を視察し、その後は報告会等を行い、潮スタイル授業をより豊かなものにする。	
	(3)授業補助支援	3・4年生の算数科に、週4回少人数指導の支援員を配置する。	
	(4)放課後等学習支援	毎週木曜日の3時～4時半、低学力の児童の学力底上げを図る。 放課後学習 2h×週1×20週 夏季休業期間1.5h×8回	
	(5)学力定着支援	スタディープランの活用や自主学習のてびきを印刷し、各家庭に配布する。	
	(6)地域人材活用支援	図書ボランティアの方に読み聞かせをしてもらう。	
	(7)その他		